



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：有賀行秀

幹事：佐藤尚誠

発行：会報・広報委員会

第 3355 例会 (3号) 2024 年 7 月 18 日 (木) 晴れ

卓話 SPEECH



愚庵会会長 有賀行秀氏

いわき平ロータリークラブ会長

私が会長を務める愚庵会は天田愚庵を顕彰する会で、もともとは中柴先生とおっしゃる、いわき短期大学の教授が中心になって天田愚庵の文学を味わうために発足させた会と聞いています。私が会に入りました頃は野木安さんが会長で、副会長は柳井守一さんでした。お二方とも文学に明るく、特に柳井さんは中柴先生のあとを継ぐように非常に天田愚庵について研究をしていらっしゃいました。野木さんが高齢を理由に退任なさった後は市議会議員の櫻村弘さんが会長に就任し、図書館への愚庵コーナーの設置や松ヶ岡公園の愚庵邸のかやぶき屋根の修復にご尽力いただきました。現在は天田愚庵の足跡を少しでもいわき市民に広げようという立場に移行していますが、それでも決して数が多いと言えないまでも在籍する会員の、その多くは日ごろから和歌や俳句に親しみ、万葉集から始まり古典の文学をたしなんでいらっしゃる方が非常に多いと思います。

私が愚庵会の会長になりましたのは古典文学や和歌や俳句に造詣が深いからではありません。前任の櫻村弘さんが急に体調を崩され白羽の矢が立ったわけですが、その理由の一つに天田家と有賀家とは縁があるからという理由でした。天田愚庵の父の天田平太夫には3人の妻がおりました。1人目の妻についてはよくわからないのですが、2人目の妻は私の6代前の当主の妹に当たります。系図には天田何某後妻とのみ記されていますが、後妻に入りそれほども時を経ずに亡くなってしまいます。その次に林家から嫁いだ妻が生んだのが幼名久五郎(後の五郎そして最終的には愚庵)となります。私の家から嫁いだ2人目の妻は愚庵の兄の善蔵を生んでおり、今の天田家は善蔵の子孫にあたります。こうしたご縁により半ば強引に会長に指名され就任いたしました。天田平太夫にはたくさんの子供がいましたが多くは夭逝し、五郎が元服のころには兄の善蔵と川嶋家に嫁いだ姉と妹の延(のぶ)のみとなりました。私の家から嫁いだ2番目の妻は愚庵の姉と兄の母だと聞いています。天田家の墓地は大空寺にありまして、先祖供養の五輪塔に列記された法名のうち日禪大師が有賀家から嫁いだ2番目の妻だということでした。ちなみに善蔵の妻は不二屋の加藤貞夫さんの家系から嫁いでいるそうです。

愚庵会の活動は1月の松ヶ岡公園下の庵で行われる愚庵忌、年に2回行われる愚庵の庵周辺の整備、6月の総会、そして数年ごとの開催となる市民講座が主なものです。愚庵の命日近くに開催される愚庵忌は瑞光寺のご住職を請い天龍寺にあるものを模した愚庵の位牌を前に読経していただきます。位牌には「天龍第一座愚庵鐵眼和尚禪師」と刻され、位牌の開眼は西国三十三観音第二十九番札所松尾寺の松尾心空さんに執り行っていただきました。これは天田愚庵の代表作の一つであります巡礼日記のご縁によるものです。松尾心空様がお見えになるのに合わせて新調した位牌を、愚庵の庵中の仏壇に安置しての開眼作法でした。天田愚庵は戊辰戦争で父母と妹の所在が分からなくなってしまいました。少年時代の愚庵すなわち五郎は、戊辰戦争時はまだ元服をしていなかったのですが、歳のサバを読み、元服をして磐城平藩士として参戦したと伝わります。父母妹は戦火を離れる途中で行方知れずとなってしまいました。行方知れずとなった父母を日本国内探すが本日お話ししたい清水次郎長との出会いにつながります。西国巡礼は行方知れずとなった父母妹のおそらく亡くなっているであろう菩提を供養するための旅でもありました。父天田平太夫の墓は良善寺にあります戊辰戦役殉難者の墓石軍の中にも加えられており、平安会(旧藩士の会)供養祭でも殉難者に加えられています。

天田愚庵と清水次郎長

東海遊俠伝という本があります。この本を元にして3代目神田伯山の講談や2代目広沢虎造の浪曲が作られ、世に次郎長の名が知られ定着していきます。著者の山本鉄舟であるところの山本五郎は天田五郎(清水次郎長こと山本次郎長)のことであり、天田が師事した山岡鉄舟の紹介により次郎長の養子となり山本姓となりました。明治17年2月に次郎長が収監された際に、嘆願書として次郎長の功績を記したものを同年4月に出版したのがその本となります。嘆願書という性質上、次郎長の功績への称賛するに終始した内容であるとされていると言われます。五郎は同書を上梓した4か月後、次郎長はまだ収監されたままであるにもかかわらず、五郎も指揮をとり従事した富士の裾野の開墾事業の不振もあってか、突然養子縁組を解消して出家します。山本家を辞したのち山岡鉄舟の紹介で京都林丘寺の由利滴水禪師のもと参禅し禪僧となります。京都清水産寧坂に草庵を成結び愚庵と号します。

天田愚庵と正岡子規

任侠の人であった清水次郎長とのつながりは社会的には敬遠されてしまうようで、かつて市内の小学生向けに作成した天田愚庵の略歴本も教育委員会から横やりが入り配布直前でお蔵入りさせられてしまいました。民放局以外の放送局でも清水次郎長を前面に押し出すことはできないらしくお蝶夫人を前面に出して次郎長を語らなければならないという話を聞いたことがありました。その一方で天田愚庵と正岡子規の関りは近代文学界では非常に知られることとなります。全くの余談ではありませんが、いわきFCは現在J2のカテゴリーにいますが、同じJ2のカテゴリーには次郎長の本拠地の清水の清水エスパルス、正岡子規のふるさと松山には愛媛FCがあります。どちらの地域においても実は天田愚庵は知る人ぞ知るではありませんが、重要視されている人物であるようです。明治時代の代表的な歌人の正岡子規は若くして肺結核で亡くなってしまいますが、子規は愚庵の影響をうけて「万葉集」をくわしく調べ、和歌をよりよいものにしようとする運動を行い「歌詠みに与える書」を執筆したことでも有名です。この書には万葉回帰の理念が記されていて愚庵の影響が色濃く見られ、愚庵はその部分で子規がおこなった文学運動のきっかけとなった重要な人物とされています。

産寧坂にいた愚庵が病床の子規を見舞う話は子規との交流を明らかに記しています。愚庵の庵に長く滞在した桂湖村が帰郷するにあたり、庭の柿の実15個と松茸を彼に託して子規の病床に届けます。しかしいくら待っても子規からの返信の便りがありません。いぶかしく思った愚庵は「まさをは、まさきくあるか かきのみのおまきともいはず、しぶきともいはず」と問います。するとやがて子規からの返信がきます。

「みほとけに そなえし柿の あまりつらん我にぞたびし 十あまり五つ」

「柿の実の あまきもありぬ かきのみ 渋きもありぬ しぶきぞうまき」

この愚庵の柿の木を分けた柿の木が松ヶ岡公園の庵の庭に植えられています。かつて柳井さんから一ついただき食べたことがあります。その柿の実は渋いところがない味わい深い甘柿でした。種が入っていたので柳町の庭の土に入れてみましたが残念ながら生えてきませんでした。子規は産寧坂の愚庵を訪ねています。その時は、愚庵は不在でした。その時に手土産にしたのが柚子味噌で「柚味噌(ゆみそ)買って愚庵がもともと茶を乞はん」と句を残しています。これも全くの余談ではありますが、その柚子味噌は京都の姉小路にある元祖柚子味噌 八百三(やをさん)の柚子味噌だそうで、お取り寄せもできるのですが日本橋の高島屋の味百選にもおいているそうなのでお味を確かめてみたいと思います。

戊辰戦争で行方不明になった両親、姉を捜し求めていた愚庵ではありましたが、かねてより鉄舟の「現し身の親に逢うことはもう叶うまい。我が心中に親の姿を求むべきである」との教えに従って、西国三十三所巡礼に旅立ちました。清水の産寧坂の庵を出る愚庵は法衣を腰揚げ裾高に着、玉櫛(たまだすき)を頂に高く引結び、袱子(ふくす)を掛け、檜の撞木杖(じゅ



2024~2025年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリーのマジック」

THE MAGIC OF ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

もくづえ)をつき、深編笠を被(かぶ)ったその顔は、色黒く頬高、眉毛は濃く太く、鋭い眼光があったと言います。「経もあり仏もあれば我もありこころのおくに亡なきひともあり」。やがてその濃く太い眉も「ちちのみの父に似たりと人がいひし我眉の毛も白くなりなき」

やがて愚庵は伏見に居を移します。その建物が現在松ヶ岡公園にあるかやぶきの愚庵邸です。愚庵はそこで亡くなりました。死期をさとした愚庵には借金はなく、所持金も他人に渡し、頂き物はすべて返して明治37年1

月17日に没しました。遺言で墓を作ることは辞されていましたが滴水禪師の元でともに修行した鹿王院樋口住職が有志とともに愚庵の辞世の句を刻んだ歌碑を建立しそこに埋骨しているそうです。歌碑は宝塔の形をしており、辞世の句「大和田に鳥もあらなくに梶緒たえ漂う船の行方知らずも」を正面に刻み両親と妹の戒名が両脇に刻まれていると言います。大宝寺の天田家の墓地にも辞世の句を刻んだ小さな歌碑が建立されています。

司会：佐藤尚誠幹事

[点鐘・ロータリーソング(我らの生業)・四つのテスト(伊藤盛敏会員)]



伊藤盛敏会員

★ 誕生祝



三瓶 和秀さん
(7月20日)



川松 裕之さん
(7月26日)

Happy Bass Song 斉唱

◆ 会長挨拶

先ほどの理事会で企業交代の人事案件が提出されました。いわきスポーツクラブの大倉社長がいわきFC発足当時に卓話をいただきその後入会していただき仲間となっていました。通常の業務の多忙に加えJリーグの理事にも就任していらっしゃるご本人から企業内での交代の要望が出ていました。そしてこの度大倉社長から指名のありました岩岡さんの入会が理事会では承認されました。今回は企業交代によってではありませんが岩岡さんは当クラブの長い歴史の中で初めての女性会員となります。何かと負担に思うこともあるかもしれませんが、そこは持ち前のバイタリティーを以て克服していただきたいと思ひます。今後は当クラブも女性会員の拡大に向けて会員増強委員会さんにも新しい視点を加えていただいて人数増を目指したいと思ひます。企業交代であります1週間程度ご意見のあります会員さんは直接有賀までお話しいただけますようお願いいたします。

さて、先週のミニ寄席はいかがでしたでしょうか。夕刻四家酒造さんで行われたおでかけ澤木屋柳町寄席でご本人から真打昇進に向けての目標の発表がありました。私が聞きたるところでは、この秋から年末にかけて大きな会場で行くつか落語会を持つことになっており、その会がいずれも満員御礼であり毎回笑いに包まれば、その時は一つ階段を上ることができるのです。皆様、陰ながら応援の程よろしくお願ひいたします。

最後に本日の会員卓話は愚庵会となっております。実は私が卓話をいたします。愚庵会とは旧磐城平藩士天田家の出身で、のちに和歌の世界で大きな功績を遺した天田愚庵の功績を顕彰する会です。実は私は縁あって愚庵会の会長も務めています。自分でも一体いつ役職があるのかかわらなくなっているのが正直なところですが、前会長の櫻村弘さんの体調不良により急遽代役として櫻村さんから推挙されました。今回はどうしても愚庵会から皆様にお伝えしたいことがありまして登場させていただきました。後ほど、いわき市民が名前は聞いたことがあられれどいったい誰なのかかわからない、という天田愚庵につきまして清水の次郎長とのかかわりをメインにしてお話をさせていただきます。本日事務局長が同席する予定でしたが、諸般の事情がありまして会長の私からお話しさせていただきます。チラシにあります講演会、ぜひともご参加くださいますようお願いいたします。

◆ 幹事報告

- いわき平中央RC 8月プログラム予定表が届きました。
- ハイライトよねやまが届きました。



◆ 委員会報告・会員報告

◆ 出席委員会 (川松裕之委員長)

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
7月18日	46名	29名	—

◆ ロータリー財団委員会 (鈴木東雄副委員長)

清水和政さん、高萩阿都志さん、関口武司さん、阿部弘行さん、渡邊有さん、三瓶和秀さん、鈴木東雄さん。以上7件

◆ 米山記念奨学会委員会 (三瓶和秀委員長)

飯野光世さん、清水和政さん、関口武司さん、阿部弘行さん、渡邊有さん、鈴木東雄さん、三瓶和秀さん。以上7件

◆ 親睦活動委員会 (稲葉廣直委員長)

7月17日(水)に小名浜オーシャンホテル&ゴルフクラブでゴルフ愛好会第1回コンペを開き、9名が参加しました。優勝は小野寺順正会員、準優勝は伊藤盛敏会員、3位は河口利夫会員でした。

2023-2024佐々木会長杯取り切り戦も小野寺会員が優勝しました。



第1回コンペで優勝した小野寺会員(左)



取り切り戦の表彰を受ける小野寺会員(左)

◆ スマイルボックス委員会 (黒須幸雄副委員長)

♥有賀秀さん(愚庵会の会長です。卓話させていただきます)♥佐藤尚誠さん(愚庵会卓話、有賀会長宜しくお願い申し上げます)♥越智正典さん(会員皆様のご健康を念じて)♥三瓶和秀さん(誕生祝ありがとうございます)♥川松裕之さん(誕生祝ありがとうございます)♥伊藤盛敏さん(去日はゴルフお世話になりました)♥小野寺順正さん(昨日ロータリーコンペお疲れ様でした。どうやら優勝ということなのでスマイルさせて頂きます。今後も精進します)♥関口武司さん(愚庵会会長、卓話宜しくお願いします)♥清水和政さん(会長、卓話宜しくお願いします)♥森雄治さん(卓話たのしみです)♥川瀬直史さん(愚庵会様、本日の卓話お願いします)♥渡邊有さん(有賀会長、挨拶と卓話宜しくお願いします)♥鈴木雄大さん(ゴルフ会おつかれさまでした)

以上13名

★本日の例会案内 7月25日(木) 18:30~
納涼例会 海鮮炉端 魚 正

★次回の例会案内 8月1日(木) 12:30~
会員卓話 みずほ銀行いわき支店長 河野剛直会員
お食事メニュー=鱧 重

8日臨時休会 15日休会・お盆